

とやま発掘最前線－令和2年度調査成果報告会－を終えて



令和3年3月20日（土）に第7回目となる調査成果報告会を開催しました。

当日は約74名の方々にご来場をいただき、誠にありがとうございました。

来年度も開催を予定しておりますので、楽しみにして下さい。

—皆様からお寄せ頂いた声—

・ただ遺跡の成果を報告するだけでなく、現代との比較や、環境等の話も取り入れたわかりやすい話でした。漆塗りクルミ製品詳しく知りたくなりました。

・遺跡についてはあまり興味がこれまでになかったのですが、この調査をする意義のようなものが今回参加してみて少し理解できたように思います。

・南太閤山Ⅰ遺跡でまだ洗っていないものがあるそうですが、今後どんなものが出てくるか楽しみにしています。

・大量の土壌の中から細かい遺物を見つけだすのは大変な作業ですね。7000年前の遺物がよく残っていた事にびっくりです。

・歴史の発掘は大変感動しました。太閤山に住んでおり、古代の歴史にふれる楽しい時間でした。今後とも頑張ってください。

・遺跡の所在説明がわかりやすかった。実際に行ってみようと思った。

・土壌洗浄作業報告において、自然遺物の説明が（どのような植物なのか現在の写真と見比べるなど）よかった。新しい視点で楽しめた。

・中曽根遺跡で種実圧痕が土器の作成時に種が付着したことがとてもリアルでおもしろかった。

・はじめて発掘調査の報告会に参加しました。専門的なお話が聞けて勉強になりました。今後も参加したいと思います。

・また、この様な機会があると良いと思いました。